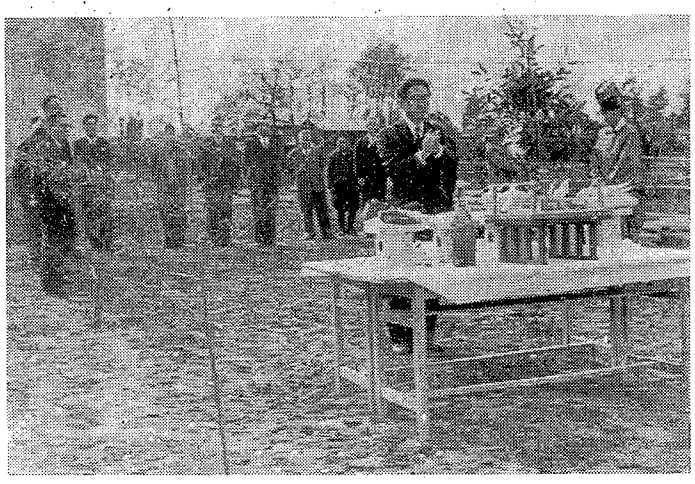
越谷町広報
（定価一部 二円）
編集と発行
埼玉県南埼玉郡
越谷町役場
電話越谷42,517,519,522番

充実される教育施設
大沢小増築工事着工

新町発足以来、蒲生中、越ケ谷小、出羽小、新方中などの増築工事をはじめ、中学統合の第一歩として東中学校建設工事の完成をみており、教育施設が逐次充実されつつありますが、このほど大沢小学校の増築工事もはじめられ、地元多年の懸案もここにむくいられました



関係者列席の上、神式により挙行された大沢小学校増築工事起工式

七百七十六万八千円で落札

大沢小学校増改築にはいては、起債の関係で、三十二、三十三両年度の継続事業として町議会の議決を得ておりましたが、この度その入札も去る八日別掲参加業者によつて行われ、予定価格八百二十万円に対して、最低の価格七百七十六万八千円で入札した吉田建設KKに落札決定をみました、落札してまもなくこの起工式は、去る十八日午後一時から建築場所において神式により挙行され、いよいよ八教室、木造二階建二六八坪（便所含む）の増築工事がはじめられました、建築場所は現在の大沢中学校を将来統合した場合、小学校に利用するという含みで、現在の北側校舎の東側になつております、これに要する敷地は十二月定例町議会の議決を得て買収ずみです

入札参加業者

渡辺建設、宇田川建設、立野建設、不動組、吉田建設、佐伯工務店、戸辺建設、佐藤建設の八業者が参加

春日部税務署だより

○…昭和卅二年度分申告所得税の確定申告と第三期分の納税は三月十五日までです

○…納税のご相談のときには、税金の収納事務も取扱いますから申告と同時に納税もすみますから便利です

○…農業所得者は、あなたの農協へ納付委託して下さい

○…納期最終日（三月十五日）は土曜日で、金融機関の窓口は午前中ですからご注意下さい

高令者の年金制
四月一日から実施の準備

高令者のための敬老年金制につもこの申し合せにそうて新年度の予算に、条例の設定と併せ、いては、県下でもすでに実施しその経費を計上、来るべき三月の定例町議会にはかり決定した上、四月一日から実施する準備を進めております、この敬老年金は、八十五才以上の高令者に給付されるもので次にその大綱を申し述べてみましょう

敬老年金とは

これは高令者の敬老と長寿を祝福しようと年金または慰問品をおくつて、その家庭の平和と住民福祉の向上に寄与するため設けられるものです

この年金を受けられる人は

本町に一年以上生活の本拠を有し年令満八十五才に達した者となつています

費用の負担は

年金の運営及び給付に要する費用は、一切町の負担となつています

この年金制度が四月一日から実施されますと、当町には満八十五才以上の高令者が約六十名おりますので、これら高令者方々の福音となります、この外年金支給のことや受給資格の屈出及び確認など、いろいろ細則が定められておりますので、くわしいことは遠慮なく、厚生課にお尋ね下さるようおねがいします

農業委員会委員の
選挙人名簿確定

（三三、三、五現）

農業委員会委員の任期が来る四月廿八日で満了いたしますが、このほどこれが選挙に必要な選挙人名簿が皆さんの申告にもとづいて次のとおり三月五日で確定いたします（越谷町選挙管理委員会）

なお農業委員会委員の選挙は任期満了前三〇日以内に執行されますが、参考までに選挙区及び選挙すべき委員の定数を掲げてみましょう

第一選挙区 七人
（越ケ谷、出羽、荻島の各地区）

第二選挙区 六人
（大袋、桜井の各地区）

第三選挙区 八人
（大沢、新方、増林の各地区）

第四選挙区 九人
（大相模、蒲生、川柳の各地区）

表 農委選挙人名簿確定登録された者

選挙人名簿	男	女	計	耕作面積（歩）
第一投票区（越ケ谷、出羽、荻島、大袋、桜井、沢方、大相模、蒲生、川柳）	114	96	210	472,115
第二投票区（越ケ谷、出羽、荻島、大袋、桜井、沢方、大相模、蒲生、川柳）	786	810	1,596	5,069,315
第三投票区（越ケ谷、出羽、荻島、大袋、桜井、沢方、大相模、蒲生、川柳）	709	717	1,426	4,844,103
第四投票区（越ケ谷、出羽、荻島、大袋、桜井、沢方、大相模、蒲生、川柳）	715	732	1,447	4,716,420
第一選挙区（越ケ谷、出羽、荻島、大袋、桜井、沢方、大相模、蒲生、川柳）	631	637	1,268	3,897,324
第二選挙区（越ケ谷、出羽、荻島、大袋、桜井、沢方、大相模、蒲生、川柳）	206	232	438	1,160,017
第三選挙区（越ケ谷、出羽、荻島、大袋、桜井、沢方、大相模、蒲生、川柳）	517	523	1,040	3,500,513
第四選挙区（越ケ谷、出羽、荻島、大袋、桜井、沢方、大相模、蒲生、川柳）	927	939	1,866	5,741,012
合計	719	700	1,419	4,511,315
第一投票区	726	777	1,503	3,009,415
第二投票区	298	295	593	1,764,229
第三投票区	6,348	6,458	12,806	38,776,128
第四投票区				
第一選挙区				
第二選挙区				
第三選挙区				
第四選挙区				
合計				

地区の話題

荻島中で第二回父の会

荻島中では斬新味のある行事を展開されていますが、去月十二日には第二回目の父の会を開きました、当中の会場に集つた約百数名の参会者と、来賓多数を迎えて午後一時から開会され、終始和やかにしかも活発に研究討議を行い盛会裡に終りました当日のテーマは「家庭における子供のよい点、わるい点は何か」で、全体の討議を行い、父親として、また学校当局としてこどもの躾の上に考えさせられる問題が多く、今後の研究課題として有意義でありました、最後に「子供の躾数え歌」を次のとおり斉唱し、映画も観賞して午後六時散会しました（田中校長より）

子どもの躾、数え歌

一つとやー日頃の行、気をつけて…子どもの手本となるようお家庭から…うち中そろつてほがらかに…**二つとやー**みえより心が大切よ…形は自然にできるもの…**四つとやー**よそへ出る時かへる時…必ず報告よい躾…**五つとやー**いつもにこにこ話し合い…楽しくごはんを食べましょう…、十までありますが以下略します

3月の歴史

一日…日本で最初の郵便切手が発行されました（一八七一）

日本最初の郵便切手は、竜のもようがついていたので「竜切手」とよばれました

二日…日本で最初の飛行機がとびました（一九一一）

アメリカ人マースが大阪城東練兵場でスカーライク号を操縦、二百メートルの上空を十分くらいずつ二、三度とびました

十三日…エジソンが映画の機械を発明しました（一八九一）

ある人がエジソンに教訓を求めたら「決して時計を見てはならない」と教えました、この熱意が偉大な発明を生んだのです

廿三日…日本ではじめて小学校ができました（一八七一）

明治四年小学校令が公布されて、男女とも満六才になつたら小学校に入らなければならないことになりました

写真…元荒川のほとり古くから知られている古梅園の梅もほころぶ

人形振興展
示即売会

一、日時…三月七日から三月九日まで毎日午前九時開場

一、場所…岩槻市、埼玉信連南埼支所

この会は埼玉県と岩槻市が主催で、当町を含む関係市町村が後援して催されるもので、当町からも約二十点出品されております、これが振興のため当関係業者をはじめ一般者多数の参観を希望いたします

広報板

越谷町詩吟大会

○主催 越谷町武道振興会
同 教育委員会

○日時 三月八日午後一時

○場所 大房 浄光寺

○参加は自由です、ご希望のお方は当日午前中までに教育委員会事務局にお申し込み下さい

○審査員 警視庁詩吟師範 本山先生

○入選のお方には賞状、賞品をおくります

三十二年度生れの 赤ちやんの種痘

三十二年生れの赤ちやん全部と、前年延期した赤ちやんの種痘を次のとおり行いますから、該当児はもれなくうけられますようお知らせいたします

種痘月日		場所
三月	三日	川柳智泉院
〃	四日	蒲生公民館
〃	五日	増林公民館
〃	六日	大相模公民館
〃	七日	新方支所
〃	八日	桜井支所
〃	十日	荻島公民館
〃	十一日	出羽診療所
〃	十二日	大沢小学校
〃	十三日	越ケ谷小学校
〃	十四日	大袋支所

検診月日		
三月	十日	
〃	十一日	
〃	十二日	
〃	十五日	
〃	十七日	
〃	十八日	
〃	十九日	
〃	廿二日	

☆時間は各会場共午後一時から三時までとなつております

☆当日必ず母子手帳ご持参下さい、なお前日はなるべく入浴して肌着を取りかえて下さい、又皮膚病や熱のある方は延期いたします

☆手数料は十円です

固定資産課税台帳の
縦覧期間を延期

固定資産税台帳の縦覧については毎年地方税法にもとづいて、三月一日から同月廿日まで、税務課窓口において、各人の縦覧に供することになつておりますが、ちようど本年は土地、家屋の再評価の年度になつており、ただいまこれが調査書の整備を実施中で、前記の期間を延期することになりました、縦覧期間決定次第本紙上にてお知らせいたしますからご了承ください

（税務課）

中小企業者のための
小口融資 あつせん ご利用を

事業のためにお金がほしいと思つてもなかなか借りられない中小企業のために設置されたこの制度を進んでご利用下さることを希望しております、ご利用なさる方は建設課商工係にお尋ね下されば、詳細ご相談に応じますからご遠慮なくおいで下さい

役場に電話加設

今度越谷町上水道浄水場に次の電話が入りました

越谷局 五五九番

…二月十八日より開通…

越谷町役場

32年度確定農業所得
本年の標準わかる

本年も卅二年度所得税確定申告の締切日、十五日がまいりました、そこで農業所得者のために、このほど春日部税務署から示された当町の卅二年度農業所得標準を、参考までに次へ掲載いたします

平均所得田では（一毛一万八千余円　二毛四千余円）
畑は一万九千五百餘円

当町管内平均田畑所得標準は、次に示す如く昨年に比しわずか増となつており、田において一毛田一万八千二百三十六円、二毛田四千百八十六円であり、普通畑は一万九千五百十五円となつております

一、当町管内反当り平均所得標準（一毛田、二毛田、畑、陸田）

▲田の部（A）収入

「一毛田」

適用収量	単価（円）	金額（円）	作付割合（%）	収入金額（円）
大麦	二四〇	三、四〇〇	九〇	二、七六〇
小麦	一八〇	四、七四〇	八〇	三、七九二
馬鈴薯（メ）	二三〇	九、一〇〇	五	四五五
なたね	九三	六、四〇〇	五	二九七
計				一、四九四

「二毛田」

適用収量	単価（円）	金額（円）	作付割合（%）	収入金額（円）
大麦	二四〇	三、四〇〇	九〇	二、七六〇
小麦	一八〇	四、七四〇	八〇	三、七九二
馬鈴薯（メ）	二三〇	九、一〇〇	五	四五五
なたね	九三	六、四〇〇	五	二九七
計				一、四九四
雑穀	六四	一、七〇〇	一〇	一一〇
野菜（メ）	二一〇	七、六五〇	八	一、二九〇
計				二、四〇〇

（B）必要経費

	田一毛（円）	田二毛（円）
公租公課	五八四	九五
種苗代	二五八	二一六
肥料代	三、一五〇	二、二七四
雇人費	四五〇	二三〇
農具費	三五一	二一三
償却費	三八三	二五一
その他	一、三七〇	七八四
計	六、五四九	四、〇六三

（C）差引所得（A）—（B）

	田一毛	田二毛
収入金額	六、二三六	四、一八六
必要経費	六、五四九	四、〇六三
差引所得	一、六八七	一二三

▲普通畑の部（A）収入

適用収量	単価（円）	金額（円）	作付割合（%）	収入金額（円）
大麦	二四〇	三、四〇〇	九〇	二、七六〇
小麦	一八〇	四、七四〇	八〇	三、七九二
馬鈴薯（メ）	二三〇	九、一〇〇	五	四五五
甘藷（メ）	三五	二、一〇〇	二・九	三六
陸稲	一六二	九、三六八	一五、五〇〇	二〇・八	三、三四
わら（メ）	六四	一五	一〇、四〇〇	八・九	九三五
計					一〇、七七七

（B）必要経費

	田一毛（円）	田二毛（円）
公租公課	五三五	一、〇一二
種苗代	一、〇一二	三、五六八
肥料代	三、五六八	二七五
雇人費	二七五	四六八
農具費	四六八	四六六
償却費	四六六	一、三七三
その他	一、三七三	七、六九七
計	七、六九七	一九、五一五

（C）差引所得（A）—（B）

	田一毛	田二毛
収入金額	一〇、六五五	八、三五六	五、二一三	四、八五四
必要経費	一九、五一五	七、六九七	一〇、六一三	三、三一三
差引所得	一、一四〇	六五九	四、六〇〇	一、五四一

二、当町水田、陸田、田裏作普通畑の地区別反当り所得標準額

▲水田

地区名	平均反当所得	標準1	準2	区3	分4	5
桜井	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
新方	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
増林	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
大袋	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
荻島	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
出羽	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
蒲生	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
川柳	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
大相模	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
越ケ谷	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
大沢	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇

▲陸田、田裏作、普通畑

地区名	平均反当所得	標準1	準2	区3	分4	5
桜井	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
新方	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
増林	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
大袋	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
荻島	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
出羽	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
蒲生	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
川柳	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
大相模	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
越ケ谷	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇
大沢	七、四〇〇	七、四〇〇	七、三〇〇	六、九〇〇	六、七〇〇	六、五〇〇

（一貫当り所得額五一、三二円）

| 地区名 | 樹令一年～二年 | 樹令三年～四年 | 樹令五年～六年 | 樹令七年～八年 | 樹令九年～十年 | 樹令十一年～十二年 | 樹令十三年～十四年 | 樹令十五年～十六年 | 樹令十七年～十八年 | 樹令十九年～二十年 | 樹令二十一年～二十二年 | 樹令二十三年～二十四年 | 樹令二十五年～二十六年 | 樹令二十七年～二十八年 | 樹令二十九年～三十年 | 樹令三十一年～三十二年 | 樹令三十三年～三十四年 | 樹令三十五年～三十六年 | 樹令三十七年～三十八年 | 樹令三十九年～四十年 | 樹令四十一年～四十二年 | 樹令四十三年～四十四年 | 樹令四十五年～四十六年 | 樹令四十七年～四十八年 | 樹令四十九年～五十年 | 樹令五十一年～五十二年 | 樹令五十三年～五十四年 | 樹令五十五年～五十六年 | 樹令五十七年～五十八年 | 樹令五十九年～六十年 | 樹令六十一年～六十二年 | 樹令六十三年～六十四年 | 樹令六十五年～六十六年 | 樹令六十七年～六十八年 | 樹令六十九年～七十年 | 樹令七十一年～七十二年 | 樹令七十三年～七十四年 | 樹令七十五年～七十六年 | 樹令七十七年～七十八年 | 樹令七十九年～八十年 | 樹令八十一年～八十二年 | 樹令八十三年～八十四年 | 樹令八十五年～八十六年 | 樹令八十七年～八十八年 | 樹令八十九年～九十年 | 樹令九十一年～九十二年 | 樹令九十三年～九十四年 | 樹令九十五年～九十六年 | 樹令九十七年～九十八年 | 樹令九十九年～百年 | 樹令百一年～百二年 | 樹令百三年～百四年 | 樹令百五年～百六年 | 樹令百七年～百八年 | 樹令百九年～百十年 | 樹令百十一年～百十二年 | 樹令百十三年～百十四年 | 樹令百十五年～百十六年 | 樹令百十七年～百十八年 | 樹令百十九年～百二十年 | 樹令百二十一年～百二十二年 | 樹令百二十三年～百二十四年 | 樹令百二十五年～百二十六年 | 樹令百二十七年～百二十八年 | 樹令百二十九年～百三十年 | 樹令百三十一年～百三十二年 | 樹令百三十三年～百三十四年 | 樹令百三十五年～百三十六年 | 樹令百三十七年～百三十八年 | 樹令百三十九年～百四十年 | 樹令百四十一年～百四十二年 | 樹令百四十三年～百四十四年 | 樹令百四十五年～百四十六年 | 樹令百四十七年～百四十八年 | 樹令百四十九年～百五十年 | 樹令百五十一年～百五十二年 | 樹令百五十三年～百五十四年 | 樹令百五十五年～百五十六年 | 樹令百五十七年～百五十八年 | 樹令百五十九年～百六十年 | 樹令百六十一年～百六十二年 | 樹令百六十三年～百六十四年 | 樹令百六十五年～百六十六年 | 樹令百六十七年～百六十八年 | 樹令百六十九年～百七十年 | 樹令百七十一年～百七十二年 | 樹令百七十三年～百七十四年 | 樹令百七十五年～百七十六年 | 樹令百七十七年～百七十八年 | 樹令百七十九年～百八十年 | 樹令百八十一年～百八十二年 | 樹令百八十三年～百八十四年 | 樹令百八十五年～百八十六年 | 樹令百八十七年～百八十八年 | 樹令百八十九年～百九十年 | 樹令百九十一年～百九十二年 | 樹令百九十三年～百九十四年 | 樹令百九十五年～百九十六年 | 樹令百九十七年～百九十八年 | 樹令百九十九年～二百年 | 樹令二百一年～二百二年 | 樹令二百三年～二百四年 | 樹令二百五年～二百六年 | 樹令二百七年～二百八年 | 樹令二百九年～二百十年 | 樹令二百十一年～二百十二年 | 樹令二百十三年～二百十四年 | 樹令二百十五年～二百十六年 | 樹令二百十七年～二百十八年 | 樹令二百十九年～二百二十年 | 樹令二百二十一年～二百二十二年 | 樹令二百二十三年～二百二十四年 | 樹令二百二十五年～二百二十六年 | 樹令二百二十七年～二百二十八年 | 樹令二百二十九年～二百三十年 | 樹令二百三十一年～二百三十二年 | 樹令二百三十三年～二百三十四年 | 樹令二百三十五年～二百三十六年 | 樹令二百三十七年～二百三十八年 | 樹令二百三十九年～二百四十年 | 樹令二百四十一年～二百四十二年 | 樹令二百四十三年～二百四十四年 | 樹令二百四十五年～二百四十六年 | 樹令二百四十七年～二百四十八年 | 樹令二百四十九年～二百五十年 | 樹令二百五十一年～二百五十二年 | 樹令二百五十三年～二百五十四年 | 樹令二百五十五年～二百五十六年 | 樹令二百五十七年～二百五十八年 | 樹令二百五十九年～二百六十年 | 樹令二百六十一年～二百六十二年 | 樹令二百六十三年～二百六十四年 | 樹令二百六十五年～二百六十六年 | 樹令二百六十七年～二百六十八年 | 樹令二百六十九年～二百七十年 | 樹令二百七十一年～二百七十二年 | 樹令二百七十三年～二百七十四年 | 樹令二百七十五年～二百七十六年 | 樹令二百七十七年～二百七十八年 | 樹令二百七十九年～二百八十年 | 樹令二百八十一年～二百八十二年 | 樹令二百八十三年～二百八十四年 | 樹令二百八十五年～二百八十六年 | 樹令二百八十七年～二百八十八年 | 樹令二百八十九年～二百九十年 | 樹令二百九十一年～二百九十二年 | 樹令二百九十三年～二百九十四年 | 樹令二百九十五年～二百九十六年 | 樹令二百九十七年～二百九十八年 | 樹令二百九十九年～三百年 | 樹令三百一年～三百二年 | 樹令三百三年～三百四年 | 樹令三百五年～三百六年 | 樹令三百七年～三百八年 | 樹令三百九年～三百十年 | 樹令三百十一年～三百十二年 | 樹令三百十三年～三百十四年 | 樹令三百十五年～三百十六年 | 樹令三百十七年～三百十八年 | 樹令三百十九年～三百二十年 | 樹令三百二十一年～三百二十二年 | 樹令三百二十三年～三百二十四年 | 樹令三百二十五年～三百二十六年 | 樹令三百二十七年～三百二十八年 | 樹令三百二十九年～三百三十年 | 樹令三百三十一年～三百三十二年 | 樹令三百三十三年～三百三十四年 | 樹令三百三十五年～三百三十六年 | 樹令三百三十七年～三百三十八年 | 樹令三百三十九年～三百四十年 | 樹令三百四十一年～三百四十二年 | 樹令三百四十三年～三百四十四年 | 樹令三百四十五年～三百四十六年 | 樹令三百四十七年～三百四十八年 | 樹令三百四十九年～三百五十年 | 樹令三百五十一年～三百五十二年 | 樹令三百五十三年～三百五十四年 | 樹令三百五十五年～三百五十六年 | 樹令三百五十七年～三百五十八年 | 樹令三百五十九年～三百六十年 | 樹令三百六十一年～三百六十二年 | 樹令三百六十三年～三百六十四年 | 樹令三百六十五年～三百六十六年 | 樹令三百六十七年～三百六十八年 | 樹令三百六十九年～三百七十年 | 樹令三百七十一年～三百七十二年 | 樹令三百七十三年～三百七十四年 | 樹令三百七十五年～三百七十六年 | 樹令三百七十七年～三百七十八年 | 樹令三百七十九年～三百八十年 | 樹令三百八十一年～三百八十二年 | 樹令三百八十三年～三百八十四年 | 樹令三百八十五年～三百八十六年 | 樹令三百八十七年～三百八十八年 | 樹令三百八十九年～三百九十年 | 樹令三百九十一年～三百九十二年 | 樹令三百九十三年～三百九十四年 | 樹令三百九十五年～三百九十六年 | 樹令三百九十七年～三百九十八年 | 樹令三百九十九年～四百年 | 樹令四百一年～四百二年 | 樹令四百三年～四百四年 | 樹令四百五年～四百六年 | 樹令四百七年～四百八年 | 樹令四百九年～四百十年 | 樹令四百十一年～四百十二年 | 樹令四百十三年～四百十四年 | 樹令四百十五年～四百十六年 | 樹令四百十七年～四百十八年 | 樹令四百十九年～四百二十年 | 樹令四百二十一年～四百二十二年 | 樹令四百二十三年～四百二十四年 | 樹令四百二十五年～四百二十六年 | 樹令四百二十七年～四百二十八年 | 樹令四百二十九年～四百三十年 | 樹令四百三十一年～四百三十二年 | 樹令四百三十三年～四百三十四年 | 樹令四百三十五年～四百三十六年 | 樹令四百三十七年～四百三十八年 | 樹令四百三十九年～四百四十年 | 樹令四百四十一年～四百四十二年 | 樹令四百四十三年～四百四十四年 | 樹令四百四十五年～四百四十六年 | 樹令四百四十七年～四百四十八年 | 樹令四百四十九年～四百五十年 | 樹令四百五十一年～四百五十二年 | 樹令四百五十三年～四百五十四年 | 樹令四百五十五年～四百五十六年 | 樹令四百五十七年～四百五十八年 | 樹令四百五十九年～四百六十年 | 樹令四百六十一年～四百六十二年 | 樹令四百六十三年～四百六十四年 | 樹令四百六十五年～四百六十六年 | 樹令四百六十七年～四百六十八年 | 樹令四百六十九年～四百七十年 | 樹令四百七十一年～四百七十二年 | 樹令四百七十三年～四百七十四年 | 樹令四百七十五年～四百七十六年 | 樹令四百七十七年～四百七十八年 | 樹令四百七十九年～四百八十年 | 樹令四百八十一年～四百八十二年 | 樹令四百八十三年～四百八十四年 | 樹令四百八十五年～四百八十六年 | 樹令四百八十七年～四百八十八年 | 樹令四百八十九年～四百九十年 | 樹令四百九十一年～四百九十二年 | 樹令四百九十三年～四百九十四年 | 樹令四百九十五年～四百九十六年 | 樹令四百九十七年～四百九十八年 | 樹令四百九十九年～五百年 | 樹令五百一年～五百二年 | 樹令五百三年～五百四年 | 樹令五百五年～五百六年 | 樹令五百七年～五百八年 | 樹令五百九年～五百十年 | 樹令五百十一年～五百十二年 | 樹令五百十三年～五百十四年 | 樹令五百十五年～五百十六年 | 樹令五百十七年～五百十八年 | 樹令五百十九年～五百二十年 | 樹令五百二十一年～五百二十二年 | 樹令五百二十三年～五百二十四年 | 樹令五百二十五年～五百二十六年 | 樹令五百二十七年～五百二十八年 | 樹令五百二十九年～五百三十年 | 樹令五百三十一年～五百三十二年 | 樹令五百三十三年～五百三十四年 | 樹令五百三十五年～五百三十六年 | 樹令五百三十七年～五百三十八年 | 樹令五百三十九年～五百四十年 | 樹令五百四十一年～五百四十二年 | 樹令五百四十三年～五百四十四年 | 樹令五百四十五年～五百四十六年 | 樹令五百四十七年～五百四十八年 | 樹令五百四十九年～五百五十年 | 樹令五百五十一年～五百五十二年 | 樹令五百五十三年～五百五十四年 | 樹令五百五十五年～五百五十六年 | 樹令五百五十七年～五百五十八年 | 樹令五百五十九年～五百六十年 | 樹令五百六十一年～五百六十二年 | 樹令五百六十三年～五百六十四年 | 樹令五百六十五年～五百六十六年 | 樹令五百六十七年～五百六十八年 | 樹令五百六十九年～五百七十年 | 樹令五百七十一年～五百七十二年 | 樹令五百七十三年～五百七十四年 | 樹令五百七十五年～五百七十六年 | 樹令五百七十七年～五百七十八年 | 樹令五百七十九年～五百八十年 | 樹令五百八十一年～五百八十二年 | 樹令五百八十三年～五百八十四年 | 樹令五百八十五年～五百八十六年 | 樹令五百八十七年～五百八十八年 | 樹令五百八十九年～五百九十年 | 樹令五百九十一年～五百九十二年 | 樹令五百九十三年～五百九十四年 | 樹令五百九十五年～五百九十六年 | 樹令五百九十七年～五百九十八年 | 樹令五百九十九年～六百年 | 樹令六百一年～六百二年 | 樹令六百三年～六百四年 | 樹令六百五年～六百六年 | 樹令六百七年～六百八年 | 樹令六百九年～六百十年 | 樹令六百十一年～六百十二年 | 樹令六百十三年～六百十四年 | 樹令六百十五年～六百十六年 | 樹令六百十七年～六百十八年 | 樹令六百十九年～六百二十年 | 樹令六百二十一年～六百二十二年 | 樹令六百二十三年～六百二十四年 | 樹令六百二十五年～六百二十六年 | 樹令六百二十七年～六百二十八年 | 樹令六百二十九年～六百三十年 | 樹令六百三十一年～六百三十二年 | 樹令六百三十三年～六百三十四年 | 樹令六百三十五年～六百三十六年 | 樹令六百三十七年～六百三十八年 | 樹令六百三十九年～六百四十年 | 樹令六百四十一年～六百四十二年 | 樹令六百四十三年～六百四十四年 | 樹令六百四十五年～六百四十六年 | 樹令六百四十七年～六百四十八年 | 樹令六百四十九年～六百五十年 | 樹令六百五十一年～六百五十二年 | 樹令六百五十三年～六百五十四年 | 樹令六百五十五年～六百五十六年 | 樹令六百五十七年～六百五十八年 | 樹令六百五十九年～六百六十年 | 樹令六百六十一年～六百六十二年 | 樹令六百六十三年～六百六十四年 | 樹令六百六十五年～六百六十六年 | 樹令六百六十七年～六百六十八年 | 樹令六百六十九年～六百七十年 | 樹令六百七十一年～六百七十二年 | 樹令六百七十三年～六百七十四年 | 樹令六百七十五年～六百七十六年 | 樹令六百七十七年～六百七十八年 | 樹令六百七十九年～六百八十年 | 樹令六百八十一年～六百八十二年 | 樹令六百八十三年～六百八十四年 | 樹令六百八十五年～六百八十六年 | 樹令六百八十七年～六百八十八年 | 樹令六百八十九年～六百九十年 | 樹令六百九十一年～六百九十二年 | 樹令六百九十三年～六百九十四年 | 樹令六百九十五年～六百九十六年 | 樹令六百九十七年～六百九十八年 | 樹令六百九十九年～七百年 | 樹令七百一年～七百二年 | 樹令七百三年～七百四年 | 樹令七百五年～七百六年 | 樹令七百七年～七百八年 | 樹令七百九年～七百十年 | 樹令七百十一年～七百十二年 | 樹令七百十三年～七百十四年 | 樹令七百十五年～七百十六年 | 樹令七百十七年～七百十八年 | 樹令七百十九年～七百二十年 | 樹令七百二十一年～七百二十二年 | 樹令七百二十三年～七百二十四年 | 樹令七百二十五年～七百二十六年 | 樹令七百二十七年～七百二十八年 | 樹令七百二十九年～七百三十年 | 樹令七百三十一年～七百三十二年 | 樹令七百三十三年～七百三十四年 | 樹令七百三十五年～七百三十六年 | 樹令七百三十七年～七百三十八年 | 樹令七百三十九年～七百四十年 | 樹令七百四十一年～七百四十二年 | 樹令七百四十三年～七百四十四年 | 樹令七百四十五年～七百四十六年 | 樹令七百四十七年～七百四十八年 | 樹令七百四十九年～七百五十年 | 樹令七百五十一年～七百五十二年 | 樹令七百五十三年～七百五十四年 | 樹令七百五十五年～七百五十六年 | 樹令七百五十七年～七百五十八年 | 樹令七百五十九年～七百六十年 | 樹令七百六十一年～七百六十二年 | 樹令七百六十三年～七百六十四年 | 樹令七百六十五年～七百六十六年 | 樹令七百六十七年～七百六十八年 | 樹令七百六十九年～七百七十年 | 樹令七百七十一年～七百七十二年 | 樹令七百七十三年～七百七十四年 | 樹令七百七十五年～七百七十六年 | 樹令七百七十七年～七百七十八年 | 樹令七百七十九年～七百八十年 | 樹令七百八十一年～七百八十二年 | 樹令七百八十三年～七百八十四年 | 樹令七百八十五年～七百八十六年 | 樹令七百八十七年～七百八十八年 | 樹令七百八十九年～七百九十年 | 樹令七百九十一年～七百九十二年 | 樹令七百九十三年～七百九十四年 | 樹令七百九十五年～七百九十六年 | 樹令七百九十七年～七百九十八年 | 樹令七百九十九年～八百年 | 樹令八百一年～八百二年 | 樹令八百三年～八百四年 | 樹令八百五年～八百六年 | 樹令八百七年～八百八年 | 樹令八百九年～八百十年 | 樹令八百十一年～八百十二年 | 樹令八百十三年～八百十四年 | 樹令八百十五年～八百十六年 | 樹令八百十七年～八百十八年 | 樹令八百十九年～八百二十年 | 樹令八百二十一年～八百二十二年 | 樹令八百二十三年～八百二十四年 | 樹令八百二十五年～八百二十六年 | 樹令八百二十七年～八百二十八年 | 樹令八百二十九年～八百三十年 | 樹令八百三十一年～八百三十二年 | 樹令八百三十三年～八百三十四年 | 樹令八百三十五年～八百三十六年 | 樹令八百三十七年～八百三十八年 | 樹令八百三十九年～八百四十年 | 樹令八百四十一年～八百四十二年 | 樹令八百四十三年～八百四十四年 | 樹令八百四十五年～八百四十六年 | 樹令八百四十七年～八百四十八年 | 樹令八百四十九年～八百五十年 | 樹令八百五十一年～八百五十二年 | 樹令八百五十三年～八百五十四年 | 樹令八百五十五年～八百五十六年 | 樹令八百五十七年～八百五十八年 | 樹令八百五十九年～八百六十年 | 樹令八百六十一年～八百六十二年 | 樹令八百六十三年～八百六十四年 | 樹令八百六十五年～八百六十六年 | 樹令八百六十七年～八百六十八年 | 樹令八百六十九年～八百七十年 | 樹令八百七十一年～八百七十二年 | 樹令八百七十三年～八百七十四年 | 樹令八百七十五年～八百七十六年 | 樹令八百七十七年～八百七十八年 | 樹令八百七十九年～八百八十年 | 樹令八百八十一年～八百八十二年 | 樹令八百八十三年～八百八十四年 | 樹令八百八十五年～八百八十六年 | 樹令八百八十七年～八百八十八年 | 樹令八百八十九年～八百九十年 | 樹令八百九十一年～八百九十二年 | 樹令八百九十三年～八百九十四年 | 樹令八百九十五年～八百九十六年 | 樹令八百九十七年～八百九十八年 | 樹令八百九十九年～九百年 | 樹令九百一年～九百二年 | 樹令九百三年～九百四年 | 樹令九百五年～九百六年 | 樹令九百七年～九百八年 | 樹令九百九年～九百十年 | 樹令九百十一年～九百十二年 | 樹令九百十三年～九百十四年 | 樹令九百十五年～九百十六年 | 樹令九百十七年～九百十八年 | 樹令九百十九年～九百二十年 | 樹令九百二十一年～九百二十二年 | 樹令九百二十三年～九百二十四年 | 樹令九百二十五年～九百二十六年 | 樹令九百二十七年～九百二十八年 | 樹令九百二十九年～九百三十年 | 樹令九百三十一年～九百三十二年 | 樹令九百三十三年～九百三十四年 | 樹令九百三十五年～九百三十六年 | 樹令九百三十七年～九百三十八年 | 樹令九百三十九年～九百四十年 | 樹令九百四十一年～九百四十二年 | 樹令九百四十三年～九百四十四年 | 樹令九百四十五年～九百四十六年 | 樹令九百四十七年～九百四十八年 | 樹令九百四十九年～九百五十年 | 樹令九百五十一年～九百五十二年 | 樹令九百五十三年～九百五十四年 | 樹令九百五十五年～九百五十六年 | 樹令九百五十七年～九百五十八年 | 樹令九百五十九年～九百六十年 | 樹令九百六十一年～九百六十二年 | 樹令九百六十三年～九百六十四年 | 樹令九百六十五年～九百六十六年 | 樹令九百六十七年～九百六十八年 | 樹令九百六十九年～九百七十年 | 樹令九百七十一年～九百七十二年 | 樹令九百七十三年～九百七十四年 | 樹令九百七十五年～九百七十六年 | 樹令九百七十七年～九百七十八年 | 樹令九百七十九年～九百八十年 | 樹令九百八十一年～九百八十二年 | 樹令九百八十三年～九百八十四年 | 樹令九百八十五年～九百八十六年 | 樹令九百八十七年～九百八十八年 | 樹令九百八十九年～九百九十年 | 樹令九百九十一年～九百九十二年 | 樹令九百九十三年～九百九十四年 | 樹令九百九十五年～九百九十六年 | 樹令九百九十七年～九百九十八年 | 樹令九百九十九年～千年 | 樹令千一年～千二年 | 樹令千三年～千四年 | 樹令千五年～千六年 | 樹令千七年～千八年 | 樹令千九年～千十年 | 樹令千十一年～千十二年 | 樹令千十三年～千十四年 | 樹令千十五年～千十六年 | 樹令千十七年～千十八年 | 樹令千十九年～千二十年 | 樹令千二十一年～千二十二年 | 樹令千二十三年～千二十四年 | 樹令千二十五年～千二十六年 | 樹令千二十七年～千二十八年 | 樹令千二十九年～千三十年 | 樹令千三十一年～千三十二年 | 樹令千三十三年～千三十四年 | 樹令千三十五年～千三十六年 | 樹令千三十七年～千三十八年 | 樹令千三十九年～千四十年 | 樹令千四十一年～千四十二年 | 樹令千四十三年～千四十四年 | 樹令千四十五年～千四十六年 | 樹令千四十七年～千四十八年 | 樹令千四十九年～千五十年 | 樹令千五十一年～千五十二年 | 樹令千五十三年～千五十四年 | 樹令千五十五年～千五十六年 | 樹令千五十七年～千五十八年 | 樹令千五十九年～千六十年 | 樹令千六十一年～千六十二年 | 樹令千六十三年～千六十四年 | 樹令千六十五年～千六十六年 | 樹令千六十七年～千六十八年 | 樹令千六十九年～千七十年 | 樹令千七十一年～千七十二年 | 樹令千七十三年～千七十四年 | 樹令千七十五年～千七十六年 | 樹令千七十七年～千七十八年 | 樹令千七十九年～千八十年 | 樹令千八十一年～千八十二年 | 樹令千八十三年～千八十四年 | 樹令千八十五年～千八十六年 | 樹令千八十七年～千八十八年 | 樹令千八十九年～千九十年 | 樹令千九十一年～千九十二年 | 樹令千九十三年～千九十四年 | 樹令千九十五年～千九十六年 | 樹令千九十七年～千九十八年 | 樹令千九十九年～二千年 | 樹令二千一年～二千二年 | 樹令二千三年～二千四年 | 樹令二千五年～二千六年 | 樹令二千七年～二千八年 | 樹令二千九年～二千十年 | 樹令二千十一年～二千十二年 | 樹令二千十三年～二千十四年 | 樹令二千十五年～二千十六年 | 樹令二千十七年～二千十八年 | 樹令二千十九年～二千二十年 | 樹令二千二十一年～二千二十二年 | 樹令二千二十三年～二千二十四年 | 樹令二千二十五年～二千二十六年 | 樹令二千二十七年～二千二十八年 | 樹令二千二十九年～二千三十年 | 樹令二千三十一年～二千三十二年 | 樹令二千三十三年～二千三十四年 | 樹令二千三十五年～二千三十六年 | 樹令二千三十七年～二千三十八年 | 樹令二千三十九年～二千四十年 | 樹令二千四十一年～二千四十二年 | 樹令二千四十三年～二千四十四年 | 樹令二千四十五年～二千四十六年 | 樹令二千四十七年～二千四十八年 | 樹令二千四十九年～二千五十年 | 樹令二千五十一年～二千五十二年 | 樹令二千五十三年～二千五十四年 | 樹令二千五十五年～二千五十六年 | 樹令二千五十七年～二千五十八年 | 樹令二千五十九年～二千六十年 | 樹令二千六十一年～二千六十二年 | 樹令二千六十三年～二千六十四年 | 樹令二千六十五年～二千六十六年 | 樹令二千六十七年～二千六十八年 | 樹令二千六十九年～二千七十年 | 樹令二千七十一年～二千七十二年 | 樹令二千七十三年～二千七十四年 | 樹令二千七十五年～二千七十六年 | 樹令二千七十七年～二千七十八年 | 樹令二千七十九年～二千八十年 | 樹令二千八十一年～二千八十二年 | 樹令二千八十三年～二千八十四年 | 樹令二千八十五年～二千八十六年 | 樹令二千八十七年～二千八十八年 | 樹令二千八十九年～二千九十年 | 樹令二千九十一年～二千九十二年 | 樹令二千九十三年～二千九十四年 | 樹令二千九十五年～二千九十六年 | 樹令二千九十七年～二千九十八年 | 樹令二千九十九年～三千年 | 樹令三千一年～三千二年 | 樹令三千三年～三千四年 | 樹令三千五年～三千六年 | 樹令三千七年～三千八年 | 樹令三千九年～三千十年 | 樹令三千十一年～三千十二年 | 樹令三千十三年～三千十四年 | 樹令三千十五年～三千十六年 | 樹令三千十七年～三千十八年 | 樹令三千十九年～三千二十年 | 樹令三千二十一年～三千二十二年 | 樹令三千二十三年～三千二十四年 | 樹令三千二十五年～三千二十六年 | 樹令三千二十七年～三千二十八年 | 樹令三千二十九年～三千三十年 | 樹令三千三十一年～三千三十二年 | 樹令三千三十三年～三千三十四年 | 樹令三千三十五年～三千三十六年 | 樹令三千三十七年～三千三十八年 | 樹令三千三十九年～三千四十年 | 樹令三千四十一年～三千四十二年 | 樹令三千四十三年～三千四十四年 | 樹令三千四十五年～三千四十六年 | 樹令三千四十七年～三千四十八年 | 樹令三千四十九年～三千五十年 | 樹令三千五十一年～三千五十二年 | 樹令三千五十三年～三千五十四年 | 樹令三千五十五年～三千五十六年 | 樹令三千五十七年～三千五十八年 | 樹令三千五十九年～三千六十年 | 樹令三千六十一年～三千六十二年 | 樹令三千六十三年～三千六十四年 | 樹令三千六十五年～三千六十六年 | 樹令三千六十七年～三千六十八年 | 樹令三千六十九年～三千七十年 | 樹令三千七十一年～三千七十二年 | 樹令三千七十三年～三千七十四年 | 樹令三千七十五年～三千七十六年 | 樹令三千七十七年～三千七十八年 | 樹令三千七十九年～三千八十年 | 樹令三千八十一年～三千八十二年 | 樹令三千八十三年～三千八十四年 | 樹令三千八十五年～三千八十六年 | 樹令三千八十七年～三千八十八年 | 樹令三千八十九年～三千九十年 | 樹令三千九十一年～三千九十二年 | 樹令三千九十三年～三千九十四年 | 樹令三千九十五年～三千九十六年 | 樹令三千九十七年～三千九十八年 | 樹令三千九十九年～四千年 | 樹令四千一年～四千二年 | 樹令四千三年～四千四年 | 樹令四千五年～四千六年 | 樹令四千七年～四千八年 | 樹令四千九年～四千十年 | 樹令四千十一年～四千十二年 | 樹令四千十三年～四千十四年 | 樹令四千十五年～四千十六年 | 樹令四千十七年～四千十八年 | 樹令四千十九年～四千二十年 | 樹令四千二十一年～四千二十二年 | 樹令四千二十三年～四千二十四年 | 樹令四千二十五年～四千二十六年 | 樹令四千二十七年～四千二十八年 | 樹令四千二十九年～四千三十年 | 樹令四千三十一年～四千三十二年 | 樹令四千三十三年～四千三十四年 | 樹令四千三十五年～四千三十六年 | 樹令四千三十七年～四千三十八年 | 樹令四千三十九年～四千四十年 | 樹令四千四十一年～四千四十二年 | 樹令四千四十三年～四千四十四年 | 樹令四千四十五年～四千四十六年 | 樹令四千四十七年～四千四十八年 | 樹令四千四十九年～四千五十年 | 樹令四千五十一年～四千五十二年 | 樹令四千五十三年～四千五十四年 | 樹令四千五十五年～四千五十六年 | 樹令四千五十七年～四千五十八年 | 樹令四千五十九年～四千六十年 | 樹令四千六十一年～四千六十二年 | 樹令四千六十三年～四千六十四年 | 樹令四千六十五年～四千六十六年 | 樹令四千六十七年～四千六十八年 | 樹令四千六十九年～四千七十年 | 樹令四千七十一年～四千七十二年 | 樹令四千七十三年～四千七十四年 | 樹令四千七十五年～四千七十六年 | 樹令四千七十七年～四千七十八年 | 樹令四千七十九年～四千八十年 | 樹令四千八十一年～四千八十二年 | 樹令四千八十三年～四千八十四年 | 樹令四千八十五年～四千八十六年 | 樹令四千八十七年～四千八十八年 | 樹令四千八十九年～四千九十年 | 樹令四千九十一年～四千九十二年 | 樹令四千九十三年～四千九十四年 | 樹令四千九十五年～四千九十六年 | 樹令四千九十七年～四千九十八年 | 樹令四千九十九年～五千年 | 樹令五千一年～五千二年